

週 報

1999年11月28日 降誕前第4主日
待降節(アドベント)に入る
巻20 35号

1999年度 教会主題

「互いに仕え合う」

聖句 兄弟たち、あなたがたは、自由を得るために召し出されたのです。ただ、この自由を、肉に罪を犯させる機会とせず、愛によって互いに仕えなさい。

ガラテヤの信徒への手紙 5章13節

- 目標
1. 生活を整えて礼拝、諸集会を守る。
 2. キリストの体なる教会形成に参与する。
 3. 教会創立20周年記念に備える。

日本キリスト教団 横浜港南台教会

横浜市港南区港南台7丁目8-29

郵便番号 234-0054

電話 045-833-5323

F A X 045-833-6616

振替 00290-4-13994

牧師 秋吉隆雄

人は「大韓独立万歳」と叫んで処刑されていった。死刑から減刑され生還した李鶴来氏は次のように証言している。「日本が敗けて日本の植民地であった自分の祖国は独立して、みんな喜んでいるのに、日本に協力して、対日協力者として俘虜を虐待したということで、死んでいかなければならないという民族的な負い目、…日本人戦犯の場合は、その戦争の善し悪しは別としても、一応は自分の国のために死んでいくんだというような心の諦めがあります。だけど、私たちには、その心のよりどころさえなくて、日夜悩みました。亡くなった友人たちの気持ちもおそらく全く同じ気持ちで死んでいったと思います。」日本から理不尽に強制され、自国からは対日協力者として白眼視される苦しみは測り難い。生還した人々も十年前後の収監を強いられている。原告たちは最高裁への上告と同時に、広範な協力を得て立法化しようと動き始めた。今日民主国家間では、個人に対する謝罪と補償は正義と公平を実現する「条理」とされている。

◇牧師室より◇

韓国・朝鮮人「BC級戦犯者」に対する謝罪と国家補償を求める裁判で東京地裁も東京高裁も原告の控訴を棄却した。その後のことが気になっていたが、「補償立法をすすめる会」の創設集会があると聞き参加した。山口自衛官「合祀」拒否訴訟や指紋押なつ拒否訴訟など、宗教的、民族的少数者の人権問題と取り組んでいる今村嗣夫弁護士、元三木武夫首相夫人・睦子氏、恵泉女学園大学の内海愛子教授の三人が「会」の代表者である。アジア太平洋戦争中、朝鮮から三千人余の青年が日本軍の捕虜監視員として動員された。徹底した皇民化教育を受け日本人にさせられた彼らは戦後、捕虜虐待を問われ、148名が有罪、うち23名が死刑になった。日本人は「天皇陛下万歳」、朝鮮